

平成21年6月12日

貧酸素水塊速報 (2009年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成21年6月9日観測結果

貧酸素水塊はやや発達し、内湾北部の底層はほぼ貧酸素水塊に覆われていました(図1)。鉛直的にはまだそれほど厚くなく、引き続き例年より小規模で推移しています(図2,3)。しかし、例年6月になると底層の貧酸素化が本格化していますので、底びき・刺網・筒等漁業者は、今後貧酸素水塊の分布に注意が必要です。

湾奥は、海面が紅～褐色、透明度1m以下の濃い赤潮状態でした。

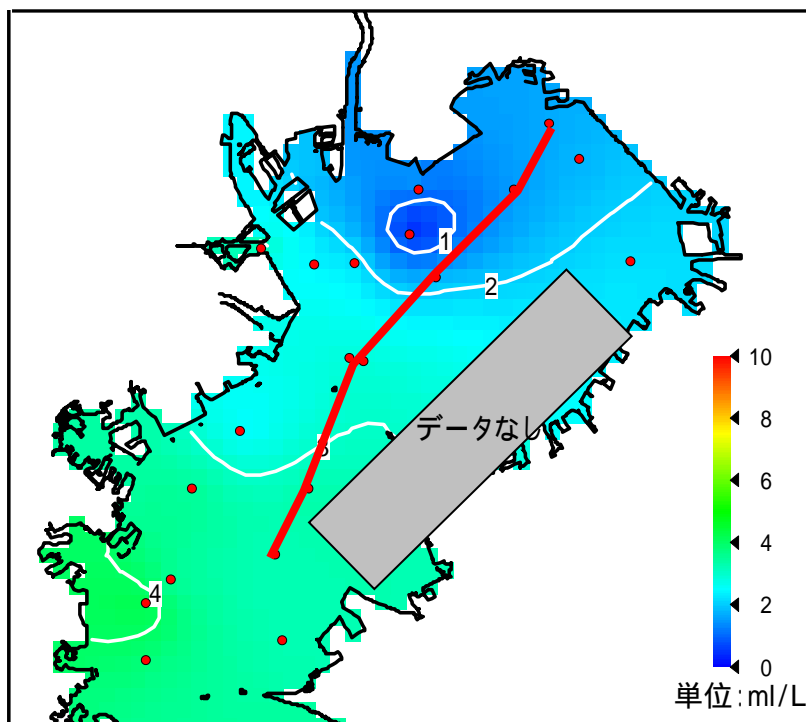


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

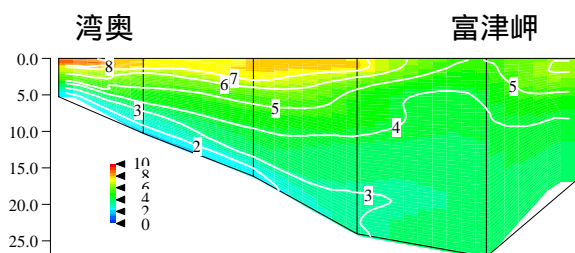


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

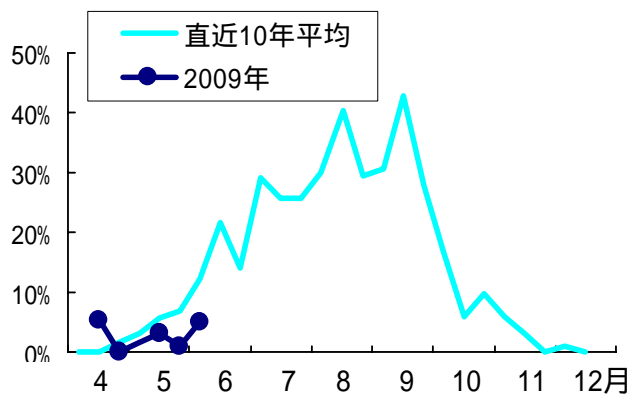


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)